

## 国営玉名横島海岸保全事業地区 大浜海岸一斉清掃支援活動

令和7年 8 月 24 日(日)午前 7:00 から熊本県玉名市大浜海岸で行われた大浜漁業協同組合が主催する「大浜海岸一斉清掃支援活動」に 255 名(うち NPO 会員 32 名、関係会社職員・家族 73 名、地元 150 名)が参加しました。

大浜海岸(堤防)は国営横島干拓事業(S26～S49)として造成面積 624ha(うち農地 479ha)の施設として建設されました。堤防の補強は当初県営事業で始まりましたが、昭和 34 年の伊勢湾台風により全国的に高潮被害が発生し、昭和 35 年全国で初めて直轄(国営)海岸保全事業「玉名地区」(S35～S54)として整備されました。さらに、平成 12 年から防護、環境、利用の調和の取れた海岸づくりを目指して「玉名横島地区」に着手し、整備が進められているところです。

本活動は令和元年を最後にコロナ禍の影響や「玉名横島地区」での整備が進み、ゴミの漂着が減少したことに伴い玉名市以外の活動組織への協力依頼が行われず、不参加となっていました。

今年は 8 月 10 日深夜から 11 日朝にかけて降った記録的大雨により一級河川菊池川から多くのごみ等が漂着し、当会は堤防西海岸笠洲周辺を中心に清掃を行いました。作業は主催者の挨拶のあと、堤防に漂着したペットボトル、空き缶やプラスチックゴミ等を集めました。天候は曇り空ながら気温が高く、汗を流しながら作業を終えました。

集合写真(1)



集合写真(2)



作業中



ゴミ集積状況

